

公営競技における競艇の特徴に関する考察 ―各公営競技の比較と女子選手に着目して―

A discussion of the special characteristics of motorboat racing :The presence of female racers compared to other public-managed racing

1K04B245-0

芳之内 貴彬

指導教員

主査 志々田文明先生

副査 リー・トンプソン先生

1. はじめに

私は以前から公営競技に興味があり、競艇を初めて見に行ったとき、女子選手が男子選手に勝利してしまうという場面に遭遇する。同一の条件で女子が男子を負かすことなど、プロスポーツにおいては無いという固定観念があった私は大変な衝撃を受けた。その衝撃が本論文の研究動機の中核となっている。同じ公営競技でも競艇以外での公営競技では女子選手が男子選手を相手に華々しく勝利するシーンなどなかなか見ることができない。女子選手すらいない競技(競輪、オートレース)もある。その違いは何であるのか。その原因を探る。

もう一つの問題は、なぜ競艇は女子選手だけのレースだけでなく、男子と一緒に競う独自のレースもやるのか、という点である。このことを考える上で大事な点は、この競艇競技を創った人物の思想についての考察であろう。競艇の創設に貢献した一人が笹川良一である。彼がどのようにして競艇を創設していったのであろうか。

本論文では、競馬、競輪、オートレースとの比較と女子の存在に着目しながら、上記2つの課題に取り組む。その上で、競艇の特徴を明らかにすることが目的である。

2. 公営競技とその歴史

公営競技はそもそも第二次世界大戦後の戦災復興のため、窮乏した地方財政の財源として、財政に繰り入れることができる財源があればという考えから生まれたもののひとつが公営競技であった。

本章では競艇、競馬、競輪、オートレースの競技の説明とその競技ができた歴史や女子選手の歴史について述べている。

3. 競艇とその他の競技との比較

競艇、競馬、競輪、オートレースの選手になるための募集要項から性別、年齢、身長、体重、視力、学歴などをピックアップして表にまとめる。また競走中に用いるもの、乗り物や装備品などを表にまとめる。それらの2つの表を比較する。

4. 競艇の生みの親、笹川良一

笹川良一は1899(明治32)年5月4日、大阪府三島郡豊川村小野原(現在の大阪府箕面市)で父鶴吉、母テルの長男として生まれた。戦前は株取引などで大きな資産を築く。また衆議院選挙に出馬、非推薦ながら当選する。戦後は議員を辞め、A級戦犯容疑者として、巣鴨プリズンに収監される。

巣鴨プリズンの獄中で見た『ライフ』誌のモーターボートのグラビアに影響を受け、競艇の設立に尽力。その後は慈善活動を精力的に行った。

彼の行動は母から受けた厳しくも優しい教育とそこから生まれた「人類みな兄弟」の考えに貫かれていたものであった。

5. 結論

一つめの課題について、公営競技の選手になるための条件やレースの形態自体は、必ずしも女性ができないというものではなかった。競艇の大きな特徴は女子と男子がともにレースをすることである。女子競輪が廃れた理由が選手間の「力の差が歴然」としているということである。しかし、競艇は女子の中で「力の差が歴然」であったとしても、男子選手とレースをすることによって、力の差は「歴然」ではなくなる。つまり、レベルの幅が広がるのである。それが競艇の特徴でもあり、女子選手が排他されなかった理由でもある。

二つめの課題について、男女混合レースを実施したことは笹川の「人類みな兄弟」の考えに基づいている。その考えを競艇に当てはめれば、男子も女子も選手になれば、男女共にレースを行うのは当たり前のことなのである。もちろん女性の活躍の場の提供という意味も持っていたと思われるが、しかし男女ともにレースを行うという競艇の特徴は笹川のその考えから生まれたと言えるだろう。

以上から、他の公営競技と異なる競艇の特徴は、男子だけ、女子だけというレースだけでなく、男女混合でのレースができるという点であり、それを可能にしたのは笹川の「人類みな兄弟」という思想にあったと結論づけた。